

殺菌剤

プライア[®]水和剤

豆類(未成熟)、
たまねぎに
適用拡大!!

小麦赤かび病・葉枯症防除
ローテーションの要。

2成分で小麦赤かび病・葉枯症を防除

ローテーション防除に好適

小麦と豆の二刀流



■適用病害と使用方法(抜粋)

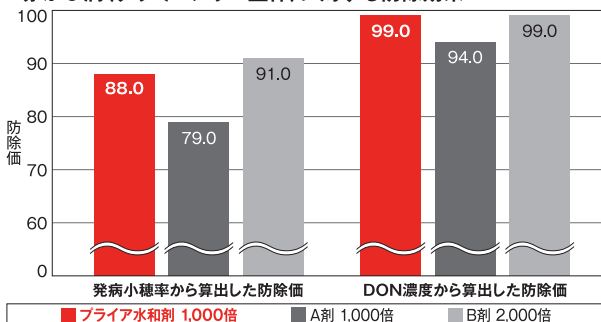
有効成分:ジエトフェンカルブ…25.0% ペノミル…25.0%

作物名	適用病害名	希釈倍数 (倍)	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	ジエトフェンカルブを含む 農薬の総使用回数	ペノミルを含む 農薬の総使用回数
小麦	赤かび病 葉枯症	1000 ～1500	60～150 ℓ/10a	収穫21日前 まで	2回以内	散布	2回以内	4回以内 (種子への処理は1回以内、 は種後は3回以内)
豆類 (未成熟、ただし、 えだまめ、さやいんげん、 さやえんどうを除く)	灰色かび病 菌核病 炭疽病	1,000	100～300 ℓ/10a	収穫30日前 まで	3回以内		3回以内	6回以内 (種子粉衣は1回以内、 灌注は2回以内、 散布は3回以内、)
えだまめ	紫斑病							
さやいんげん	灰色かび病 菌核病 炭疽病			収穫開始 14日前まで				
さやえんどう				収穫前日まで				
豆類 (種実、ただし、だいず、 らっかせいを除く)				収穫14日前 まで	4回以内			
だいず	紫斑病							
たまねぎ	灰色かび病 灰色腐敗病			収穫7日前 まで	5回以内		5回以内	8回以内 (種子粉衣は1回以内、 育苗培土混和、灌注 または苗根部浸漬は 合計1回以内、 散布は6回以内)

(2018年8月現在の登録内容)

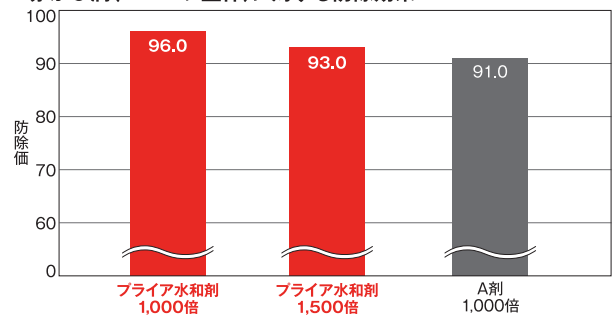
■試験成績

●赤かび病(グラミニウム主体)に対する防除効果



2015年 北海道立総合研究機構 十勝農業試験場
品 種:ハルユタカ 散布 日:2015年6月24日、
播 種 日:2015年4月23日 7月2日、9日、16日
開花 始期:2015年6月23日 調 査 日:2015年7月27日
区制・面積:3連制・10.8m² (2.4×4.5m) 発生状況:甚発生(接種)
無処理区における菌種割合:Fusarium graminearum:62%、Favenaceum:5%、Microdochium nivale:33%
調 査 方法:各区4カ所(およそ100穂)の発病穂数および発病小穂数を調査。
収穫後、小麦中に含まれるDON濃度を分析。

●赤かび病(ニバーレ主体)に対する防除効果



2013年 北海道立総合研究機構 十勝農業試験場
品 種:きたほなみ 散布 日:2013年6月14日、22日
播 種 日:2012年9月22日 調 査 日:2013年7月13日
開花 始期:2013年6月14日 発生状況:甚発生
区制・面積:3連制・10.8m² (2.4×4.5m)
無処理区における菌種割合:Fusarium avenaceum 3.3%、Microdochium nivale 96.7%
調 査 方法:各区100穂について病穂率および発病小穂率を調査。

⚠ 使用上の注意事項

- 使用量に合わせ薬液を調整し、使いきってください。
- 薬剤耐性菌の出現を防ぐため本剤の過度の連用は避け、作用性の異なる薬剤と組み合わせて輪播で使用してください。
- 本剤はエトフェンブロックス乳剤またはダイアジノン乳剤と混用した場合、凝固物を生成するため混用をさけてください。
- 石灰硫黄合剤、ボルドー液との混用はさけてください。
- 水溶性内袋入りの製剤を使用する場合は、次の事項に注意してください。
 - ①内袋はぬれた手で触れないでください。
 - ②外袋の開封後は一度に使いきることが望ましい。やむを得ず保管する場合でも、できるだけ速やかに使いきってください。
 - ③薬液調製の際は、容器内の水に内袋を開封せずそのまま投入し、よく攪拌してください。
- 水溶性フィルムで包装した製剤は吸湿性があるので、湿気には十分注意し、使い残りは外袋の口を固く閉じて保管してください。
- 散布量は対象作物の生育段階、栽培形態及び散布方法に合わせ調節してください。

- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に被害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 本剤は眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗してください。
- 散布の際は農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 使用残りの薬液が生じないように調整を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 直射日光を避け、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管してください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●小児の手の届く所には置かないでください。 ●空袋・空容器は圃場等に放置せず適切に処理してください。

30H8H18P73:ZS

2018年8月作成(全新企画社)

大地のめぐみ、まっすぐ人へ
sca GROUP

住友化学

〒104-8260 東京都中央区新川2丁目27番1号

お客様相談室 0570-058-669

農業支援サイト 農力 <https://www.inouryoku.com>

